

前副村長 内田峰夫さん

「信じてほしい島の美点」

- ・昭和60年4月東京都主税局に奉職
- ・平成15年4月東京都総務局総合防災部三宅島担当を拝命。その後1年間、帰島に向けた業務に従事
- ・平成25年4月副村長に就任、平成27年3月同職退任

プロフィール

平成17年の三宅島民の全島避難からの帰島の際に力を尽くすとともに、平成25年4月から3年間副村長を務めた内田峰夫さんに、これまでの三宅との関わりを振り返るとともに、今後の島の発展のために必要なものは何かなどの貴重な意見を伺った。

三宅島の皆様、こんにちは。今年の3月まで、副村長を務めさせて頂いた内田峰夫と申します。このたび、ぜひ、三宅島を外から見た率直な感想をとご依頼を頂きました。若輩者の私が、たまたま副村長として三宅島の皆様にお世話になった



三宅村村民憲章の前で櫻田昭正村長と写真に納まる内田前副村長(左)



発行所：三宅島ふるさと再生ネットワーク
〒173-0005
東京都板橋区仲宿2-1
TEL 090-4922-0798
FAX 03-3964-4065
発行人：会長 佐藤就之

事務局便り

○神楽坂あおぞら市
5月15日(日)
12:30~18:00
明日葉、タケノコ、くさやなど、三宅島の特産品販売！
最短出口 東西線「神楽坂」駅A1口下車
スーパーきむらや(東京都新宿区神楽坂6-50)周辺。お手伝いなどお願いします。
○ご寄付のお願い
郵便振替口座
口座番号：00120-3-545036
口座名称：三宅島ふるさと再生ネットワーク
【三宅島ふるさとネット事務局】
郵便番号：173-0005
住所：板橋区仲宿2-1
携帯：090-4922-0798
FAX：03-3964-4065
連絡先 佐藤就之

島にお世話になって

私が島でお世話になった方の中には、何故かご自分の生まれ育った島の人のことを悪く仰った方がおられました。曰く、人の足ばかり引つ張る。他への依存心が強すぎる等々。でも、それは本当でしょうか？他所はそんなに素晴らしいのでしょうか？

一つだけお伝えすること

3年間お世話になっての視点で敢えて一つ申し上げるとすれば、往々にして噂に振り回されすぎていっている気がしました。私は、櫻田村長のお傍で様々なお話を聞いておりましたが、事実確認もしないままのお話を持ち込まれている様子を拝見し、心底その大変さを感じておりました。

私自身も、全く身に覚えのないことで、話したこともない方から人前で非難されたり、出身元へ

わけてはありませんが、恐らくそんなことはありません。似たようなお話はたくさん聞きます。寧ろ、三宅島の皆さんの方が、よっぽど真面目で実直なのではないかと感じておりました。

なぜそうなのかは全く見当が付きませんが、噂で動けば不信感が募るばかりなのではないかと考える次第です。(無礼な物言いお許し下さい。)

しかし、私は三宅島の皆さんが持ち前の美点はたくさんあると思えます。もっと自信を持って頂いてよいのではないのでしょうか。

結びに、三宅島の益々のご発展と、読者の皆様のご健勝を心より祈念いたします。私の拙い原稿を終わらせていただきます。三年間本当にお世話になりました。

ふるさとネット 28年度総会を実施

島の再生に向けた計画を承認

ふるさとネットは、4月9日に巣鴨で平成28年度の総会を開催した。この中で平成27年度の活動報告、および28年度の活動方針が承認された。今年度の活動としては、島の再生のために提言を行っていくことや総会を「支援者の集い」と併せて12月に実施することなどが承認された。

平成28年度 活動計画

4月	総会 16日(土) 総会議案審議・あおぞら市打ち合わせ
5月	三宅島新報第61号発行 ふるさとだより50号発行 神楽坂あおぞら市準備・打ち合わせ 神楽坂あおぞら市に出店 15日(日) 12:30～(雨天決行)
6月	第44回世話人会 4日(土) 18:30～20:30 (喫茶室にて)(アンケートの検討)
7月	三宅島新報第62号発行 ふるさとだより51号発行
8月	ふれあいコール 20日(土) (名簿整理・需要の確認)
9月	第45回世話人会 3日(土) 18:30～20:30
10月	三宅島新報第63号発行 (1面に支援者の集いのお知らせ・新報と共に往復葉書き郵送) ふるさとだより52号発行
11月	事務局会議(支援者の集い出欠確認・準備) 第46回世話人会(総会準備) 26日(土) 18:30～20:30
12月	三宅島支援者の集い 10日(土) 18:30～20:30 (第一部・総会 第二部・支援者の集い)
1月	三宅島新報第64号発行 ふるさとだより53号発行
2月	事務局会議(来年度に向けて)
3月	第47回世話人会 未定

前年度の取り組み

1、三宅島は、帰島10周年を迎えて行政など年間を通じて様々なイベントが行われました。

また、10周年ということでTOKYO MXテレビは、東京都提供で「まると三宅島！」を放映。元気な島民の生活や活動が紹介されました。10月には、ドイツテレビ局が

マスコミを通じて情報を発信

口永良部の被災者に資料提供を

「面白い旅」の番組で三宅島に3人で取材に来ました。他のテレビ局でも浅沼徳広元村議宅で光安千久子三宅支部長も協力して三宅島の漁業と島料理の紹介等しました。

2、情報活動の柱である「三宅島新報」もDTPAの皆さんの努力で予定通り4回発行できまし

た。12月12日の支援者の集いのメッセージで、在京者の神着出身で元郵便局長の平松尚志さんが、在京者と島の人々の気持ちを寄せられました。

3、「ふれあいコール」、三宅島の再生・長期災害の課題解決の問題提起、被災地との交流(口永良部島噴火被災者との交流

では、三宅島の資料等を送り喜ばれました)しかし在京者に対する訪問活動と「ふれあいコール」は、在京者も高齢化し亡くなった人、特養施設入所、または、子どもが家に転居、子どものために残った多数の主婦や家族も子どもの成長により、島に帰った者や別居生活で島と内地に分散生活を余儀なくされた人々など様々で、把握は難しくなっています。

4、2月7日には、村長

選挙と村議会選挙がありました。村長は櫻田現職が無投票再選、村議も10人立候補、定数8人中6人が新人、現職2人当選、残念ながら浅沼徳広候補は、5票差で次点となりました。

人工透析導入、灰干し新商品開発、漁協の発展に寄与しました。また大久保浜の防災、産業振興、元高濃度地区の再開発など重視すべき公約は引き続き実現に努力したいものです。

平成28年度の方針

人口減対策など専門家と検討も

熊本地震は、4月14日夜発生しました。次は「南海トラフ巨大地震」を想定していた私たちも阪神大地震以上の揺れが内陸で起きることは、専門家も含め想定外であったという。15日現在で死者9人、負傷者1010人、まだまだ余震が続き予断を許せない事態で被害は増えるでしょう。犠牲者に追悼の意を表します。私たちが交流のあった口永良部島の全島避難し



取材に訪れたドイツTVルイ記者と佐藤会長

た噴火災害が年末に帰島が始まったばかりでした。今回の熊本地震は、日本全土に衝撃を与えています。最近の大震災は、復旧・復興に長期間かかり、まだ東日本大震災も復旧が停滞し福島原発の被災者は、生活の見通しも立っていません。三宅島長期噴火災害は、教訓を風化させず語り継がなければならぬことを改めて痛感させられます。

今年度の課題については、次の通り提案します。1、まず熊本地震の被災者に支援を行います。三宅村役場の窓口で支援金を送りますので、ご協力をお願いいたします。2、情報活動は、

三宅島再生、観光・産業振興にとって多大な影響力を持ちます。今後も力を入れて取り組みます。三宅島新報発行は、5、7、10、1月の4回とします。HPなど情報を発信します。3、神楽坂あおぞら市参加は、商店街のご協力をえて、5月のみとします。今年度は、5月15日(日)12時30分から開店します。準備のご協力をお願いします。4、「ふれあいコール」、「全島避難中の記録作り」、各地被災地との交流と支援、三宅島支部の活動を発展させます。5、「総会」と「支援者の集い」を一緒に開き情報を共有する努力を提案します。(12月10日(土)夜に「支援者の集い」と同時開催決定しました)6、三宅島再生のために提言とコミュニケーション再生

のために努力します。注目された「三宅村総合戦略(案)」が2月に発表されました。危惧していたように残念ですが総花的です。帰島10年を超えているので政策を絞り込むことを期待していました。例えば「都政新報」の報道で利島村では村の新規事業として、定住促進住宅整備に4世帯用の建設・9600万円、定住促進空き家登録2軒分・600万円を村議会会で予算化しました。具体化のために、帰島時の「復興計画」の総括から始める勇気がいります。少ない予算ですから他を削っても、集中的に人口対策に充てる決断が求められます。数値目標はほぼ未定。今後に期待します。人口減と高齢化で地域交流が難しくなっています。この問題が次の課題。専門家を交えて検討したいものです。7、活動資金のために、引き続き皆様のご寄付を仰ぎ三宅島災害・再生を風化させないためにお願いたします。

収入の部	27年度予算	27年度決算	28年度予算
寄付金	550,000	891,698	700,000
活動収入	156,000	176,855	100,000
雑収入	0	1,893	100
前期繰越金	130,248	130,248	5,268
収入合計	836,248	1,200,694	805,368

支出の部	27年度予算	27年度決算	28年度予算案
広報費	660,000	973,956	688,000
訪問活動費	0	0	1,000
活動費	105,000	158,364	55,000
会議費	13,000	30,556	10,000
事務備品費	1,100	708	5,000
通信費	33,200	15,542	30,000
渉外費	0	0	1,000
雑支出	23,948	16,300	15,368
小計	836,248	1,195,426	805,368
次期繰越金	0	5,268	0
合計	836,248	1,200,694	805,368

ふるさとネット27年度決算・28年度予算

平成28年度役員

- 会長 佐藤就之
- 副会長 酒井一豊
光安千久子(三宅島支部長)
- 事務局長 栗原未帆
- 事務局次長 山中恵美子
- 会計 板倉美紀子
- 世話人
吉田信行 菊池忠男 増田奈穂子
京町 横井和之 山田貴久
森啓予 青木健史
- 監査 中島香保子 渡壁舞
(順不同・敬称略)

